



第 1273 回例会報告

平成 24年6月14日(木) 晴

会長挨拶

会長 三村昌暉

知己を得る

6月11日『ホテル紅や』に於きまして、今期の諏訪グループ最終会長幹事会が開催されました。小松郁俊ガバナー補佐の事業報告と決算報告がありましたが、端的に言えば今期の打ち上げ懇親会が主であります。11時過ぎまで旧来の友人同士のよう、おおいに盛り上がりました。

ロータリアンでいることに、いろんな意味合いをお持ちになることだと思いますが、自己研鑽と奉仕の実践のほかに、入会しなければ出合う事のなかった一流と言っても良い人生経験を持った人達との出会いも、大きな魅力の一つと考えられます。

入会したての頃、地区大会などで他のクラブのメンバーと親しく交流する先輩を見て、大変羨ましく感じました。その頃は、自分も先輩達のようにいつになったらなれるだろうかと思った物でしたが、5年前の幹事、今期の会長を勤めさせていただき、少しは、友人の輪が広がったのではないかと感じています。まだ知己を得るとまでは言えませんが、私を知り、理解してくれる人間が一人でも多くなることは、喜びでもあります。ロータリーに入ってよかつたなあと、しみじみ感じる今日この頃であります。

会長職も終わりに近づくと、こんな風を感じる物なんだなーという本日の会長挨拶であります。

◇幹事報告◇

【報告事項】

第7回会長幹事会が6/11ホテル紅やにて開催されました。

【連絡事項】

①年会費についてはご協力ありがとうございます

た。あと少しの会員がラスト納入を競っておいでの様ですが、残念ながら表彰も商品もございませんので、よろしく願い致します。

②6/28最終例会の出欠表を回覧致しますので〇印をお願い致します。

【受領文書】

ウィクリー 諏訪RC

第 1273 回例会

事業報告

会長・幹事

クラブ奉仕委員会

原委員長(代理平山副委員長)

08月11日 納涼例会 於ミラノサローネ

09月29日 プロに学ぶNO1

講師 カーサ・デ・ソル湖浜 滝脇氏

10月20日 プロに学ぶNO2

講師 山猫亭 太田氏

■ニコニコ BOX

2 2名	27,000 円
累計	1,169,000 円
目標額	130 万円
達成率	89.92%

■今週のこトば

明日からセブ島へ行ってきました。多大なご支援ご協力ありがとうございました。20日には戻る予定です。

溝口幸二

■出席報告

会員数	33名
出席対象	33名
出席者数	24名
出席率	72.7%
前回修正	81.8%

■次回のプログラム

6月28日

最終夜間家族例会

受付6時 点鐘6時30分



12月22日 クリスマス例会 於ミラノサローネ
 01月05日 新春卓話 講師 青木下諏訪町長
 01月12日 新春卓話 講師 今井岡谷市長
 01月19日 新春卓話 講師 山田諏訪市長
 04月19日 お花見例会 於:平福寺
 05月10日 スポーツ卓話
 講師 下諏訪町体育協会大野会長

05月29日 夜間通常例会
 06月07日 早朝例会 於平福寺
 以上11回の例会を担当し、もう1回最終例会が残っています
 出席の管理は、今日現在平均出席率約84%となってい

ます
 ニコニコBOXは、1,142,000円(6月7日現在)最後の協力をお願いします



職業奉仕委員会

北原委員長(代理望月副委員長)

今期 職業奉仕委員会を一年間担当させていただき、「職業奉仕って何？」のレベルの私でしたので、不安だらけでした。しかしながら、いままでの委員会の中で私は一番勉強した委員会でした。

ロータリーばかりではなく、何事も「わからないわからない」と言っているばかりでは先には進まないと言うことです。

さて 当委員会の担当例会は 5回でした。

7月21日 2600地区職業奉仕委員長の奥村さんの卓話から始まり10月の職業奉仕月間では例会場を「諏訪圏工業メッセ」の会場に移し、諏訪の物作りの見学をし有意義な例会となりました。

会員卓話では諏訪湖ロータリークラブの新旧会員2名によるそれぞれの胸中をお話していただき、諏訪湖ロータリークラブの歴史、品格等、諸先輩方から引継ぎ、また新しく変えていく事と変えてはいけない事を見極めなくてはならないと感じました。



私は自分の職業に自信と誇りを持ち、どうすれば、人のため、社会のために貢献できるのか、これからも考え続けてまいります。

社会奉仕委員会

小林委員長

年次計画に沿って進めてまいりましたが、一部実施できない事業もありました。

第一回目の例会では「クラブで行う奉仕活動」の在り方について考えました。「入って学び、出でて奉仕せよ」はロータリーの例会で奉仕を学び、企業で、地域で奉仕活動の実践を促す言葉であります。

しかし、クラブの奉仕活動の多くは、クラブの都合で実施され、会員に奉仕を促す内容には成っておりません。奉仕を学ぶ場ではなく、奉仕活動をする処となっています。ロータリーは、専ら奉仕活動をするには馴染まない組織で、金の使い方も奉仕クラブとは云えないと断言しました。

第二回の例会では、アンケートに基づき、クラブでの奉仕活動の在り方をどの様に捉えているかを検証しました。

事業は従来通りで良い、会員に行動を促す内容が良い、どちらも必要と三種類の意見が在りました。奉仕の理想、決議23-34、超我の奉仕、ロータリーの実践倫理原則など関連する指針の説明を行ったが、全く記憶されていないのではと、心配しております。

第三回目の例会では、「道徳水準を高めよ」謳われながら、未だかつて先輩ロータリアンから道徳に触れた話がない事を不思議に思い僅かながら調べてみました。



道徳は道と徳からなるが、この場合の道とは世の中で人が従うべき道のことであり、徳とはそれを体得した状態のことである。品性は道徳的な心遣いと行いを積み重ねることによって形作られる、卓越した道徳的能力のことで、この能力は徳とも呼ばれ人格の中心をなしています。幸福の実現を確実にするには品性を向上に努めることです。など、梅原猛さんの道徳観を交えて「道徳」の重要性を話しました。

第四回目の例会では、長期計画のスケジュール

を提案しました。今後5年間でブナの植林を終結し、身近な里山へと転換すべくスケジュールを提案致しました。

第五回目の例会は信大の花里教授を招き諏訪湖浄化に関係した「生態系」の興味深い話をいただきました。自然破壊と生態系破壊は同じ様な意味として捉えられており、生態系も破壊されるかのように云われていますが、教授の話では、人間も生態系の一部で生態系が変わることはあっても、壊れることは無いと話されました。湖は地球の生態系のミニチュアである。生物や人間が生き残れる生態系にする必要があると云われました。

第六回目の例会は和田峠の清掃活動でした。下中の生徒22名と一緒に1時間30分ペットボトルや空き缶を大量に収集しました。

6回の例会担当の他に湖畔清掃活動2回、ブナの植樹を行いました。

国際奉仕委員会

溝口委員長

今期、5回の委員会を開き、委員会事業の検討、展開について話し合い、同時に親睦を深めました。事業として……

1. ローター財団寄付について

今期はポール・ハリスフェロー4名とクラブからの拠出金合わせて本年4月30日現在、8080.76ドルで年次寄付目標(APF)達成率139%、諏訪グループ第2位です。



2. 米山奨学金寄付について

普通寄付金一人三千元×34名分＝10万2千円 特別寄付金30万円 計40万2千円でした。

3. 2011-2012年度国際ローター年次大会について
原さんの努力で、久しぶりに当クラブから4名が大会に参加しました。4日間の大会で得られた情報の中には、是非皆さんにお伝えしたいものがありますので、次回21日の例会にお話いたします。

4. 国際奉仕事業について:

七年前、セブ島のスクアターに住む恵まれない人達や、孤児院のこどもたちに食料や古着、薬品を届ける、というささやかな人道支援から始まったセブ島支援事業は、26期赤羽委員長の時に、公立マクタン小学校に鍵盤ハーモニカを寄贈したことをき

っかけに、大きく変わりました。『セブ島の子供たちに音楽教育を』をテーマにした今期国際奉仕事業は、下諏訪中学校の協力で集まった61台の鍵盤ハーモニカをマクタン小に贈呈し、同行してくれた下中の林先生の演奏指導で、マクタン小学校の先生と生徒がキラキラ星、ジングルベル、ハッピーバースデー・トウ・ユクを練習したことで、立派な教育支援事業に変わることが出来ました。マクタン小学校の生徒たちは学校のクリスマスパーティにクリスマスソングを演奏し、PTAの年次総会では、父兄の前でフィリピン国歌を演奏しました。指導に携わったナネット先生は、『この音楽教育のお陰で、生徒たちの生き方を変えることが出来ました』とメールしてきました。学ぶということは、変わるということです。教師の生きがいは教育によって生徒をより良い方向に変えることだと信じます。その手助けが出来たとすれば、私たちとしては本望であります。

明日、小学生2名を含め12名がセブ島に行き、マクタン小に2500台の鍵盤ハーモニカを贈呈します。そして、下諏訪中学の生徒とマクタン小学校の交信がスカイプで始まります。

また、友好クラブのグアダルーペRCの依頼で、セブ本島にある公立グアダルーペ小学校に同事業を展開するかどうかを検討してきます。これで本事業は渡辺新委員長の次期国際奉仕委員会に引き継ぐこととなりますが、どうかこの事業が、2013年7月から始まる国際ローター財団の『未来の夢』計画に参加できることを願っております。

これまで皆さんには、鍵盤ハーモニカの収集、クリーニング、そして資金カンパと大変ご協力いただきました。この事業は単に国際奉仕委員会の事業では無く諏訪湖RCの事業だと信じております。

最後に、この事業展開の過程で新聞、LCVにたびたび取材報道されたことは、国際ローターが戦略計画の優先事項『ローターの公共イメージと認知度の向上』に貢献したものだと思っています。

来期も全会員のご協力お願いし、また一人でも多くの方がセブに行くくださることを願っています。

事業報告

- 委員会5回開催。
- R財団寄付はPHF4名とクラブ拠出金合計8087.76ドル
- 米山奨学金寄付は40万2千円
- 国際ローター年次大会参加者4名
- 「セブの子供たちに音楽学習を！！」プロジェクトの本格化
- ロータークラブの公共イメージと認知度の向

上に貢献。

新世代奉仕委員会

高林委員長

新世代奉仕はロータリー活動の中でも大変重要な活動の一つであります。このことを基本に一年間活動してきました。

新世代の事業は、継続事業と地区事業の二つの柱がありますが継続事業については、クラブ奉仕委員会、社会奉仕委員会の企画に乗せて頂きました。

クリスマス例会に下中吹奏楽部の生徒を招き成果を発表して頂きました。又協働奉仕活動としてブナの木の新植林と和田峠清掃に一緒に汗を流しました。

10月に実施された下中生徒の職場体験実習には、急な要請にも関わらず、多くの会員の皆さんに職場を提供して頂き有難ございました。

地区事業については、ライラ、インターアクト、ローターアクト、アクトミーティング等の大会に参加し、多くの若者達と接する機会を得ました。

最後に成りましたが、微力な私を支えて頂きました委員会の皆さん、そして会員の皆さんのご協力に深く感謝致します。

活動報告

- 7月23日 第19回 インターアクト地区大会3人出席
長野市若里文科ホール
- 9月24日 第23回 ライラ長野出席 ホテル国際21
- 9月22日 ガールスカウト、ボーイスカウトへの助成金贈呈式と卓話
「一年間の活動状況について」講師 ガールスカウト小池敬子様 ボーイスカウト木下昭夫様
- 10月30日 第35回アクトミーティング出席 ミラノサローネ アネックス
- 11月17日 担当例会 講師卓話
講師 下諏訪体育協会専務理事長幅政博様
演題「青少年の健全育成とスポーツ」
- 12月22日 クラブ奉仕委員会と共同、クリスマス例会に下中吹奏楽部を招待し演奏を聴く
- 2月2日 担当例会 会員卓話 講師小松孝弘会員
演題「保護司活動に取り組んで」
- 3月22日 担当例会 講師卓話



講師 信州少年野球連盟会長長雨宮太書夫様
演題「昨今の少年野球」

4月29日 社会奉仕委員会と共同 下中生徒と協働でブナの森に植樹

5月27日 社会奉仕委員会と共同 和田峠清掃、下中生徒参加

5月27日 第35回ローターアクト地区大会出席 飯田市シルクホテル

クラブ会報・雑誌広報委員会

海老原委員長

一年間本当にありがとうございました。何もできない自分を委員会の3名の方、会員の皆様に応援していただき後2週間余りとなりました。

会報委員会は例会の写真と記事を毎回準備しなければなりませんので、例会を休まずに出席することが一番の年間事業として頑張ってきましたが、皆様の記事提出の絶大なご協力が無事発行することができました。

RI会長からのメッセージ「家族・継続・変化」に応え家族をテーマにしたウィークリー作りも計画しましたが、家族の写真の載せることの難しさも勉強させていただきました。



クラブ会報・雑誌広報委員長の棧橋を降りないうちに社会奉仕委員長の棧橋に乗り移ってしまいましたが、次期会長の「一歩前へ！！」を胸にでしゃばらず後退せず自分なりの歩幅でやって行きたいと思っております。今後もよろしくお願ひします。

会長事業報告

三村会長

第27期の始まりにあたり、私が重圧を感じつつも、会長として成し遂げねば成らないと心に誓った主な物は、以下の通りであります。

1.『うらかめや』さんから『ぎん月』さんへ、速やかな例会場の変更。

御子柴直前幹事さんの大変なお力で、『ぎん月』さんに内定し、今期に入り高山幹事さんの尽力により、8月18日の『うらかめや』さんでの最後の例会、8月25日の『ぎん月』さんでの最初の例会と、スムーズに会場変更が行われました。

2.事務局問題

例会場変更に伴い、今後の事務局運営について、高山幹事さんを中心に議論と検討が行われてきましたが、今後の経過を見ながら、皆で考えていきたいと思ひます。

3.会員増強・・・純増2名以上・若い世代の新会員獲得

最終的に、2減、4増に止まり、忸怩たる思いは残りましたが、会長指針で示した目標は、何とか達成できました。来期は36名のスタートとなります。

4.25周年から30周年につながる中期事業の立案と選択

溝口国際奉仕委員長を中心とした、公立マクタン小学校への音楽教育支援事業が立案され、始まりました。子どもたちの文化交流も含め、夢は広がります。蒲地整志会長エレクトのご理解も得られ、30周年に向けた継続事業となりました。



5.若いロータリー歴の会員に対する、ロータリーの理解が深まる会長挨拶

一ヶ月に2度くらいのペースで、ロータリーの基本的理解につながる会長挨拶をするよう心がけました。原稿製作作業が、私自身の勉強にもなりました。

6.会長ノミニーの速やかな選出。及び幹事候補者の選出

平山ノミニーの選出は、最初の指名委員会で満場一致で決定し、平山会員も快諾していただきました。

高山幹事さんを筆頭に、会員の皆様方に支えられて何とか一年間勤めさせていただきました。未熟者ゆえ、御不満を感じられた方も大勢いらっしゃったことと思ひますが、これが精一杯で有りますのでお許しをいただきたいと思ひます。一年間本当に有り難う御座いました。

SAA

小林SAA

「なごやかで秩序正しく、しかも品格ある例会でありたい。来賓やビジターを暖かくお迎えし、良い印象を与え、当クラブの活動が理解されるよう努めたい。」と。年度初めに格好つけたSAA失格。会

長・幹事、そして理事の皆様、特に河西副幹事には言葉に言い尽くせない御迷惑をかけてしまいました。

この一年間、私の更生保護活動は予期せぬことが多過ぎました。参議院法務委員会での意見陳述、わが国の保護司制度改革に向けての審議会等々。公職執務といえ、SAAとしての職責を全う出来なかったこと、会員皆様にご心から御詫び申し上げます。

会長が最後になっていますが発表順とさせていただきます

フィリピンマクタン小学校と下諏訪中学のスカイプによる交信実験が行われました

6月19日午後1時30分、下諏訪中学校校長室において、フィリピンマクタン小学校の児童と下諏訪中学校の生徒によるスカイプ(インターネット通信によるビデオ電話)の交信が行われました。

三村会長、下諏訪中学校校長なども参加、フィリピン現地にいる溝口委員長他諏訪湖RCのメンバーとも交信できました。

ただしフィリピンのインフラの整備状況が悪く、画像音声とも途切れがちでしたが、両校の児童、生徒は楽しく交流ができ次回は、7月25日の交信予定を約束しました。

2012年(平成24年) 6月20日(水) 第22782号 [日付] 昭和24年3月6日第3種郵便物認可

新聞記事のスクリーンショット。見出しは「比国とつながった!」で、内容は「下中スカイプで交流」に関するものです。写真には、両校の児童がパソコンを介してビデオ通話している様子が写っています。

スクイプによる交信の様子を伝える 市民新聞
「なごやかで秩序正しく、しかも品格ある例会でありたい。来賓やビジターを暖かくお迎えし、良い印象を与え、当クラブの活動が理解されるよう努めたい。」と。年度初めに格好つけたSAA失格。会